

遠野市産木材の利用促進の取組

～お披露目会で地元産材の魅力と高度な木材加工技術を情報発信～

1 はじめに

遠野農林振興センター(以下「当センター」という。)では、地元産木材の利用を促進するため、民間商業施設の「内装木質化お披露目会」と「遠野市の木材製品お披露目会」をそれぞれ開催し、地元産材の魅力と遠野地域の高度な木材加工技術について情報発信を行ったので、その取組事例を紹介します。

2 「お披露目会」の具体的な内容

(1) 内装木質化お披露目会

市内の書店が、県事業の「いわての木があふれる空間づくり事業」を活用し、木の温もりのある空間として内装を木質化しました。

そこで、当センターは書店に働きかけ、地元産木材の利用の取組をPRするため、「お披露目会」を企画・開催しました。



内装木質化した施設の「お披露目」

書店社長からは内装木質化の取組の経緯、施工者からは利用した地元産のカラマツとスギ

について説明していただき、地元産木材の良さを周知することができました。

(2) 遠野市の木材製品お披露目会

「令和4年度いわて木材利用優良施設等コンクール」の木製品部門で最高賞の「県知事賞」に輝いた「とりのす☆ぱーてーしょん」をはじめとした遠野木工団地で製造した木製品を展示する「遠野市の木材製品お披露目会」を開催しました。お披露目会では、概要説明のほか、木育体験も企画し、木材に触れるイメージを演出しました。



知事賞の「とりのす☆ぱーてーしょん」

3 取組の結果と今後の予定

今回実施したお披露目会では、テレビ放映や新聞に記事掲載され、遠野地域の高度な木材加工技術を広く発信することができました。

引き続き、地元産木材の利用を促進するため、地元産木材を使用した施設や木製品製作などの取組事例について、情報発信していきます。